

製品スペック概要

販売名	nodoca (ノドカ)
類別	機械器具25
一般的名称	内視鏡用テレスコープ
医療機器承認番号	30400BZX00101000
医療機器分類	管理医療機器
特定保守管理医療機器	該当
カメラ全長	約 220 mm
カメラ挿入部	直径 約 21mm (クリアシース込)
カメラ質量	約 0.2 kg
静止画解像度	フルHD (1920 x 1080)
静止画データ形式	JPEG
無線通信	Wi-Fi 2.4GHz (802.11b/g/n)
カメラディスプレイ	2.4インチ 静電タッチパネル
充電電池	リチウムイオンバッテリー
充電時間	約 4 時間
端子	USB Type-C
耐用期間	5年間 (ただし、充電電池は含まず)

構成

- カメラ
- カメラスタンド
- ACアダプタ
- USB ケーブル
- クラウドシステム用ソフトウェア「nodocaクラウド」
お手持ちのPCまたはタブレット端末から、
対応ブラウザでアクセスしてください。
対応ブラウザ：
 - ・ Google Chrome
 - ・ Microsoft Edge
 - ・ Safari

充電忘れを防ぐ
カメラスタンド

付属品

- キャップ
- 取扱説明書

組み合わせて使用する医療機器

- クリアシース A-CS1 (単回使用)
一般的名称: 舌圧子
販売名: クリアシース
医療機器届出番号: 13B1X10294SC0001

希望小売価格

- nodoca (上記構成+付属品一式): オープン価格
- クリアシース (1個): 200円 (税込: 220円)

システム利用料

- インフルエンザAI判定料: 標準料金650円 (税込: 715円)/回
※料金プランにより判定料が標準料金を下回る金額になることがあります。

保険点数 (2024年6月時点)

- 305点

区分番号	診療行為名称	請求コード
D296-3	内視鏡用テレスコープを用いた咽頭画像等解析 (インフルエンザの診断の補助に用いるもの)	160235650

注 入院中の患者以外の患者について、緊急のために、保険医療機関が表示する診療時間以外の時間、休日又は深夜において行った場合は、時間外加算として、200点を所定点数に加算する。ただし、この場合において、同一日に第1節第1款の通則第1号又は第3号の加算は別に算定できない。

算定方法に関する留意事項

- 内視鏡用テレスコープを用いた咽頭画像等解析 (インフルエンザの診断の補助に用いるもの) は、6歳以上の患者に対し、インフルエンザの診断の補助を目的として薬事承認された内視鏡用テレスコープを用いて咽頭画像等の取得及び解析を行い、インフルエンザウイルス感染症の診断を行った場合に算定する。
- 本検査は、発症後48時間以内を実施した場合に限り算定することができる。
- 「注」に規定する時間外加算は、入院中の患者以外の患者に対して診療を行った際、医師が緊急に本検査を行う必要性を認め実施した場合であって、本検査の開始時間が当該保険医療機関が表示する診療時間以外の時間、休日又は深夜に該当する場合に算定する。なお、時間外等の定義については、「A000」初診料の注7に規定する時間外加算等における定義と同様であること。
- 「注」に規定する時間外加算を算定する場合においては、「A000」初診料の注9及び「A001」再診料の注7に規定する夜間・早朝等加算、並びに検体検査実施料に係る時間外緊急院内検査加算及び外来迅速検体検査加算は算定できない。
- 本検査と、一連の治療期間において別に実施した「D012」感染症疫学的検査の「22」インフルエンザウイルス抗原定性は併せて算定できない。

お問い合わせ窓口

アイリスコミュニケーションセンター

電話: **03-6636-5148**

受付時間: 9:00-17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

nodoca特設ページのご案内
商品の詳しい情報はこちらまで
<https://nodoca.aillis.jp>



- ・ nodoca、nodocaクラウド、クリアシースは、アイリス株式会社の登録商標です。
- ・ Google Chromeは、Google Inc. の登録商標です。
- ・ Microsoft Edgeはマイクロソフト グループの企業の商標です。
- ・ Safariは米国Apple Inc.の、米国および他の国で登録された商標です。

カタログ記載内容 2024年7月現在

P-24070032-V02

A-NC1

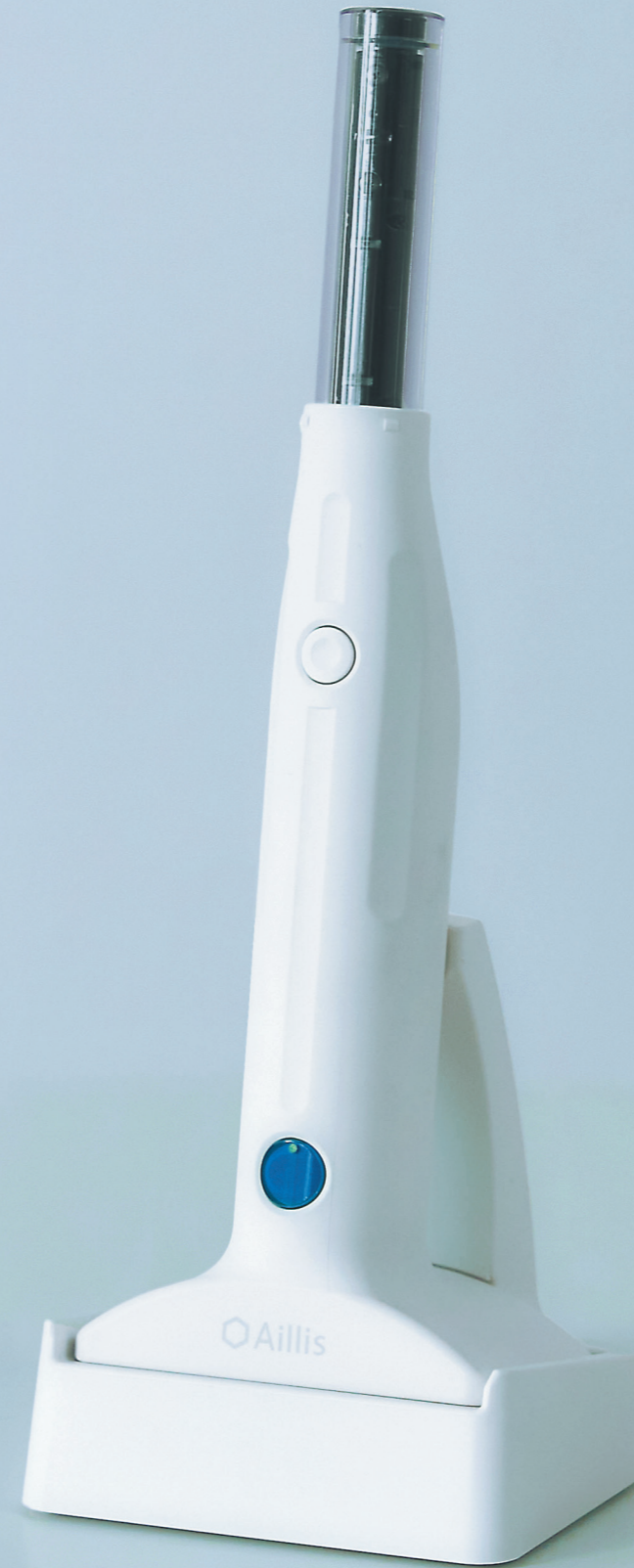


nodocaは6歳未満の患者については、有効性及び安全性が評価されておらず、使用は推奨していません。



ノドから、病気を見つけ出す。

nodoca



全国で導入実績1,000施設以上 患者さんの痛みが少ないインフルエンザ検査 保険診療で検査可能 305点

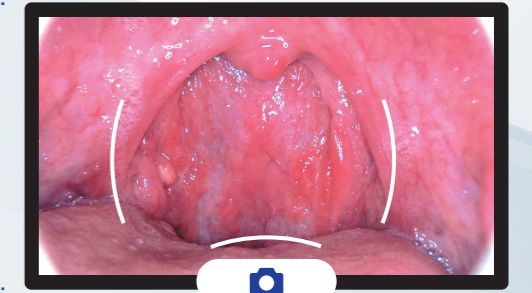
医師の目線で開発したAI搭載インフルエンザ検査機器「nodoca」。2022年12月に販売を開始、日本全国で1,000を超える医療機関に導入されました※1。nodocaは、専用カメラで撮影した咽頭画像と問診情報等をもとにAIが判定する、患者さんの痛みが少ないインフルエンザ検査を提供します。nodocaを用いた検査は保険適用されており、保険点数は305点で、迅速検査キットを用いた検査法(301点※2)とほぼ同じです。



スナッフを利かせて舌を押さえやすく
ディスプレイが視線を遮らないストレートライン構造



nodocaクラウド



nodocaで撮影した鮮明な咽頭画像

※実物大

発熱・症状が出始めてすぐに検査可能

特長

1

nodocaを用いた検査は、ウイルス自体ではなく患者さんの症状や体の変化に着目するため、発症早期の検査にも利用可能です。発熱やのどの痛みなどの症状が出始めてすぐの患者さんにも、インフルエンザ検査の結果をお伝えできます。PCR法検査に対するnodocaの感度は76.0%、特異度は88.1%です。

注 治験では統計的に有意な差は認められませんが、発症後12時間以内において、nodocaによる検査はイムノクロマト法よりも感度が高い傾向が認められました。(右図1参照)

痛みの少ない、患者さんにやさしい検査

特長

2

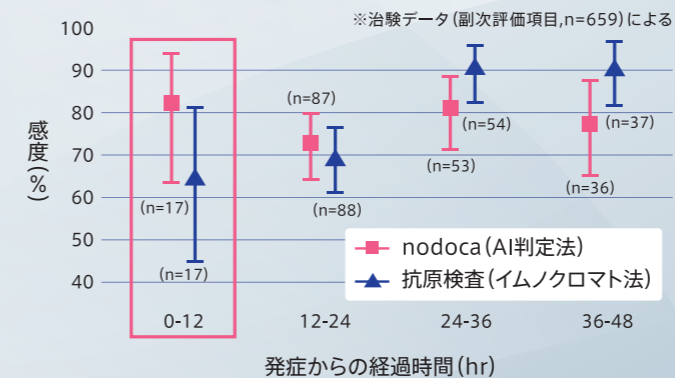
nodocaは、専用カメラで撮影した咽頭画像と問診情報等をもとにインフルエンザを判定するため、痛みの少ない、患者さんにやさしいインフルエンザ検査を提供します。治験時のNRS (Numerical Rating Scale) による痛みの評価は平均0.8と低く、実際に、治験参加者の90.6%が「今後はnodocaの検査を受けたい」と回答しています。(右図2参照)

判定開始から数秒～十数秒で判定結果取得

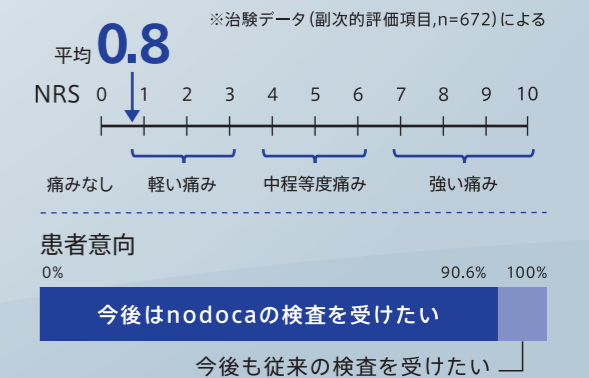
特長

3

nodoca は判定開始から数秒～十数秒※3で、インフルエンザ判定結果を取得可能です。患者さんにその場で検査結果をお伝えできるため、患者さんが待合室で検査結果を待つ時間を削減します(nodocaを用いた検査の流れは右図3参照)。忙しい医療現場においても効率的な診療をサポートします。



【図1】発症経過12時間毎のイムノクロマト法検査との感度の比較



【図2】治験時の痛み(NRS)の評価・患者意向



【図3】nodocaが提供するインフルエンザ検査の流れ

※1 2024年4月時点。
 ※2 D012-22 インフルエンザウイルス抗原定性(132点)、D026-6 免疫学的検査判断料(144点)、D419-6 鼻腔・咽頭拭い液採取(25点)。
 ※3 ご利用のインターネット環境に依ります。

注 ・インフルエンザウイルス感染症の診断は、従来の検査法と同様に、本品による判定結果のみで行わず、臨床症状や他の診察結果などと併せて医師が総合的に判断してください。
 ・使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては最新の注意事項等情報(添付文書)を必ずご確認ください。